

ノロウイルスによる感染性胃腸炎の今シーズン初の検出について

1 概要

県内医療機関(高知県感染症発生動向調査検査定点)で12月12日に採取された感染性胃腸炎の検体から今シーズン初のノロウイルスが検出されました。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、例年12月中旬から1月にかけて流行することから、今後、県内でもノロウイルスによる感染性胃腸炎の増加が懸念されますのでお知らせします。

なお、県民の皆様に対しては、健康づくり課HPで、下記4に掲げる事項を掲示し注意喚起します。

2 ノロウイルスとは

手指や食品などを介して経口で感染し、ヒトの腸の中で増殖して、嘔吐・下痢・腹痛などをおこします。

健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは、重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。

3 全国・高知県内の発生動向(感染性胃腸炎)

(1)全国

例年第40週(9月28日～10月4日)より増加しますが、今年は第46週(11月9日～11月15日)より報告数の増加がみられ始めました。第49週の定点当りの人数は3.90(去年は11.87)です。

(注意報値:12.00、警報値:20.00)

(2)高知県内

例年に比し発生は低いものの第48週の報告から徐々に増加し始め、第50週には定点当りの人数は3.37となり前週の1.5倍に増加しました(去年は12.93)。地域別にみると、安芸地域が最も多く定点当りの人数は9.50、ついで高知市の4.82となっています。

4 予防対策と注意事項

- (1) 帰宅した時は、十分な手洗い・うがいをしましょう。また、食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。
- (2) 下痢や嘔吐等の症状がある場合は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
- (3) 患者のふん便や吐物には大量のウイルスが排出されるので、直接手で触らないようにしましょう。
- (4) 子どもやお年寄りなど抵抗力の弱い方は、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう。

(参考)

高知県における各種の感染症発生情報及びノロウイルス対策マニュアルについては、高知県感染症情報センター(高知県衛生研究所内)のホームページ(<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>)を、また、ノロウイルスに関する基礎知識や感染予防等については「ノロウイルスに関する Q & A」(<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf>)を参照ください。

担当課:健康づくり課
担当者:藤村・高橋
電話:823-9677